

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2001-276087(P2001-276087A)

【公開日】平成13年10月9日(2001.10.9)

【出願番号】特願2001-63481(P2001-63481)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 17/58

A 6 1 B 17/56

// A 6 1 F 5/01

【F I】

A 6 1 B 17/58 3 1 0

A 6 1 B 17/56

A 6 1 F 5/01 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月14日(2004.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】整形外科骨板

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の貫通孔を有する柔軟なバッグと、
前記バッグ内で硬化されたポリマと、
を備える整形外科骨板。

【請求項2】

少なくとも一部が前記バッグ内に配置されている構造支持体をさらに備える、請求項1
に記載の整形外科骨板。

【請求項3】

前記構造支持体が前記ポリマを注入するための中空注入管からなる、請求項2に記載の
整形外科骨板。

【請求項4】

前記中空注入管が金属から構成されている、請求項3に記載の整形外科骨板。

【請求項5】

前記中空注入管が概略H字形状を有している、請求項3に記載の整形外科骨板。

【請求項6】

前記バッグがH字形状を有している、請求項1に記載の整形外科骨板。

【請求項7】

前記複数の貫通孔が6つの貫通孔からなる、請求項6に記載の整形外科骨板。

【請求項8】

前記骨板が脊椎固定術における使用に適するように構成されている、請求項6に記載の

整形外科骨板。

【請求項 9】

前記構造支持体の全体が前記バッグ内に配置されている、請求項 2 に記載の整形外科骨板。

【請求項 10】

前記ポリマが硬化可能なポリマからなる、請求項 1 に記載の整形外科骨板。

【請求項 11】

前記ポリマが、熱エネルギー、光エネルギー、X線エネルギー及び化学的触媒のいずれか 1 つにより硬化可能である、請求項 10 に記載の整形外科骨板。

【請求項 12】

前記ポリマが生体吸収性ポリマからなる、請求項 10 に記載の整形外科骨板。

【請求項 13】

前記ポリマがポリメタクリル酸メチルからなる、請求項 10 に記載の整形外科骨板。

【請求項 14】

前記バッグが、前記ポリマの一部が該バッグを通過することを許容する多孔性バッグからなる、請求項 1 に記載の整形外科骨板。

【請求項 15】

柔軟なバッグと、少なくとも一部が該バッグ内に配置されている少なくとも 1 つの構造支持体と、前記バッグ内で硬化され前記少なくとも 1 つの構造支持体を取り囲んでいるポリマと、を備える整形外科骨板。

【請求項 16】

前記バッグが少なくとも 1 つの突出部を含んでおり、前記突出部の各々は、少なくとも一部が該突出部内を延びている対応する前記構造支持体を有している、請求項 15 に記載の整形外科骨板。

【請求項 17】

前記突出部の各々が前記骨への取り付けのためにポリマからなる留め具をなす、請求項 16 に記載の整形外科骨板。